

開設科目一覧・演習内容紹介

商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 修士課程

科目区分	科目番号	授業科目	単位
基礎科目	流通・マーケティング系	1 商学原理講義	4
		2 流通・マーケティング論講義	4
		3 マーケティング・リサーチ論講義	4
		4 流通政策論講義	4
		5 交通論講義	4
		6 ビジネス特講Ⅰ	2
		7 ビジネス特講Ⅱ	2
		8 流通論基礎講義	2
	ファイナンス会計系	9 金融論講義	4
		10 証券経済論講義	4
		11 保険論講義	4
		12 経営財務論講義	4
		13 会計学原理講義	4
		14 財務会計論講義	4
		15 管理会計論講義	4
		16 会計監査論講義	4
	経営系	17 会計制度論講義	4
		18 経営史講義	4
		19 労務管理論講義	4
		20 経営管理論講義	4
		21 ビジネスリテラシーⅠ	2
		22 ビジネスリテラシーⅡ	2
		23 ビジネス倫理	2
		24 会社法講義	4
	経済学分野	25 労働法講義	4
		26 会社税法講義	4
計量経済学系		27 ミクロ経済学講義	2
		28 マクロ経済学講義	2
		29 実証分析講義	2
		30 ゲーム理論講義	4
経済政策・経済史系		31 動学マクロ経済学講義	4
		32 計量経済学講義	4
		33 経済政策論講義	4
		34 産業組織論講義	4
	35 労働経済論講義	4	
	36 環境経済論講義	4	
	37 農業政策論講義	4	
	38 社会思想史講義	4	
	39 財政学講義	4	
	40 企業法講義	4	
地域経済・国際経済系	41 税法講義	4	
	42 現代社会問題講義(租税論)	2	
	43 地域公共政策論講義	4	
	44 国際経済論講義	4	
共通	45 開発経済論講義	4	
	46 国際関係論講義	4	
	47 国際経済法講義	4	
	48 統計学	2	
	49 情報セキュリティ	2	
	50 情報基礎講義	2	
	51 データサイエンス概論	4	
データサイエンス系	52 人工知能概論	2	
	53 情報処理論講義	4	
	54 空間情報解析講義	4	
	55 応用システム論講義	4	
	フロンティア演習	56 流通・マーケティング論基礎演習	2
57 会計ファイナンス基礎演習		2	
58 経営学基礎演習		2	
59 ビジネス法基礎演習		2	
商学分野		60 ミクロ経済学基礎演習	1
		61 マクロ経済学基礎演習	1
		62 実証分析基礎演習	1

科目区分	科目番号	授業科目	単位	
応用科目	商学分野	63 商学原理演習	8	
		64 流通・マーケティング論演習	8	
		65 マーケティング・リサーチ論演習	8	
		66 交通論演習	8	
		67 保険論演習	8	
		68 経営財務論演習	8	
	経営系	69 財務会計論演習	8	
		70 経営史演習	8	
		71 労務管理論演習	8	
		72 経営管理論演習	8	
		経済学系	73 ゲーム理論演習	8
			74 動学マクロ経済学演習	8
	75 計量経済学演習		8	
	経済学分野	経済政策・経済史系	76 経済政策論演習	8
			77 産業組織論演習	8
			78 労働経済論演習	8
			79 環境経済論演習	8
		地域経済・国際経済系	80 農業政策論演習	8
			81 社会思想史演習	8
			82 財政学演習	8
			83 地域公共政策論演習	8
84 国際経済論演習			8	
85 開発経済論演習			8	
データサイエンス系	86 国際関係論演習	8		
	87 国際経済法演習	8		
	88 データ分析応用演習	8		
	89 情報処理論演習	8		
	90 空間情報解析演習	8		
公務員試験科目	経済学分野	91 応用システム論演習	8	
		92 ミクロ経済学問題解決	1	
		93 マクロ経済学問題解決	1	

演習内容紹介

商学原理演習

この演習科目は、商業の抽象的な理論から現実の具体的な理論を把握するために中間理論の必要性を提唱する石原武政氏の一連の著作をおとして、商業論をベースとしたまちづくりの理論的研究を行う。

流通・マーケティング論演習

流通は生産、消費、流通技術と密接な関係がある。それゆえ本演習では流通にける商業介入の意義、小売りにおけるマーケティング戦略の重要性に着目する。具体的には流通の役割、商業介入の意義に関して文献・論文を読み進め、小売りにおける実証研究をもとに検討していく。

マーケティング・リサーチ論演習

この演習科目は、マーケティング・リサーチ論演習とする。授業計画として、理論的知見として、仮説検証型調査において、調査に理論を導入することを学んでいく。ついで調査における技術的操作、またデータ集計、分析にあたって統計学についても学んでいく。

交通論演習

この演習科目は、物流を取り巻く行政の動向や、企業物流のネットワークの核となる物流倉庫や、それらをつなぐ輸配送モードを整理し、ロジスティクスの中心的役割を果たす物流管理手法を主要文献を通じて研究していく。

保険論演習

この演習科目では、近代保険の生成、保険の仕組み、保険の契約形態、保障業務と金融業務、保険の販売チャネル、保険事業の経営形態、保険商品といった保険理論を構成する要素についての理解を深める。

経営財務論演習

この演習科目では、M&A、ストラクチャード・ファイナンス、事業再生、企業価値評価、コーポレート・ガバナンスなどのトピックのなかから修士論文のテーマを選び、そのテーマについて先行研究の検討、新たな視点の発見、その視点による理論的考察や実証分析によって、オリジナリティある修士論文を作成することを目的とする。

財務会計論演習

この演習では、会計ルールや企業の会計行動について研究の対象とする。この中には、外国の会計制度との比較研究なども含まれる。演習の指導方針として、規範的な議論をできるだけ避け、「なぜ・どうして」を探求する姿勢を堅持したい。

経営史演習

この演習科目では、少人数の対話を通じ、経営史学の研究方法を踏まえ、自ら選択した研究テーマを深く追究していくことを支援する。授業計画としては、経営史研究に不可欠な、一方で「グローバル化」および、他方での「地域」の関係について、次第に理解を深めていくように工夫する。

労務管理論演習

この演習科目は、これまで内外のスタンダードの地位にあった日本の労務管理が現在どのような変化を見せているのかを、雇用形態の多様化、女性労働や高齢者雇用の拡大、賃金の決定基準の変化、労働時間の柔軟化、リモートワークの普及といった点から確認する。

経営管理論演習

履修生の知識範囲と研究興味に合わせて本演習の具体的内容を設定・調整する必要があるが、日本企業・中国に進出した日系企業・中国企業・グローバル企業の経営活動を研究対象とする修士論文の作成は本演習の基本テーマである。

ゲーム理論演習

この演習科目は、ゲーム理論の主要なモデルとして、(1)完備情報の静学ゲーム、(2)完備情報の動学ゲーム、(3)不完備情報の静学ゲーム、(4)不完備情報の動学ゲーム、さらにゲーム理論の一分野として契約理論(エージェント理論)を学修する。

動学マクロ経済学演習

目標：動学的な数理経済モデルを用いて、分権的な社会での最適な状態を達成するための政策について研究を行う。

計量経済学演習

本演習では、主に都市経済や地域経済の分野を対象として、各自の研究テーマ及び問題意識に基づき、実証的アプローチで修士論文を作成することを目的とする。

経済政策論演習

この演習科目では、動学マクロモデルの理解を深め、理論モデルを用いた修士論文の執筆を行う。1年次は、経済政策を分析する上で欠かせない経済理論を代表的な論文の輪読を通じて学ぶ。2年次は、1年次に学んだ手法を用いて、各自のテーマに従い修士論文を作成する。

産業組織論演習

本演習は、不完全競争市場における企業の行動および戦略的行動の結果到達する市場の資源配分の様々な状況について、具体的な分析事例の読解を通じて理解を深めることを目的とする。

労働経済論演習

社会の少子高齢化が進行する中、労働経済学が分析対象とする賃金、雇用、教育などについて研究する重要性は増している。本演習では、労働経済学の実証的研究を学修することで、修士論文を作成するために必要となる実証分析の手法を学修する。

環境経済論演習

この演習科目は、環境経済論の手法を用いて重要な環境問題について分析する。1年次は、環境経済論における主要テーマや環境経済論を分析する上で欠かせない手法について学ぶ。2年次は、学んだ手法を用いて、各自のテーマに従い修士論文を作成する。

農業政策論演習

気候変動と社会的格差拡大のもとで、求められる持続的な食料・農業システムはどのようなものであるかについて理論的、実証的に研究を進め、最終的に演習生の修士論文としてとりまとめます。

社会思想史演習

この演習科目では、社会思想史分野の著作(原著及びその翻訳書)を一年間もしくはそれ以上の時間をかけて、じっくり講読してゆく。そして、その講読に基づいて思想内容に関する討議を行い、理解を深めることを目的とする。

財政学演習

院生が自ら設定した研究テーマに関する修士論文を完成させることを到達目標とする。そのために、まず租税論を中心とした財政学の知識に基づき、租税論に関する基本的文献を注意深く検討し、その内容についての討議を通じて租税論に関する知識の修得と深化を図る。

地域公共政策論演習

従来の経済学の基本概念である「完全で合理的な人間」のパラダイムに対する不満から生じた「限定合理性」のモデルの意義とその有用性について学び、演習によって実際の問題に適用できるようにする。

国際経済論演習

この演習科目は、国際経済、特に国際貿易論の基礎的な研究と応用分野の分析を行う。国際経済の理論的理解のためには、ミクロ経済学の基礎的知識が必要である。そのため前半では、必要なミクロ経済学の理論を再確認しながら国際経済の理解を深める。

開発経済論演習

この演習科目は、開発経済学の理論を理解した上で、発展途上国が抱える様々な開発問題を探って、経済的・非経済的側面から課題の解決策を検討することを目的とする。

国際関係論演習

本演習では、国際関係論講義と同じく、国際環境政治学を学ぶ上で重要になる自然と人間の関係、産業革命(人新世)以降の環境危機に注目する。「水銀に関する水俣条約」のような具体的な地球環境条約を各自で選び、それぞれの条約成立過程の分析、成立後の国際交渉過程、また、国内の批准過程の分析を行う。

国際経済法演習

当演習の目標は、国際経済法講義科目によって得た知識の定着、基礎の習得、最新の問題状況を俯瞰するとともに、参加学生が自らの問題意識に応じて、国際経済法に関連する研究上の課題を設定することにある。

データ分析応用演習

機械学習の手法を実際のビジネスで生かすことができることを目標とする。演習前半は模擬データを用いて、機械学習による実践的な分析を行う。演習後半はこれらの分析手法をビジネスに生かすコンセプトについて議論する。

情報処理論演習

この演習科目では、情報社会の歴史的な話題やビッグデータや機械学習AIの用途に関する講義を行ったうえで、実際のコンピュータ操作によってビッグデータや機械学習AIの活用方法を身に付けることを目的とする。

空間情報解析演習

この演習科目では、GIS(Geographic Information System、地理情報システム)データおよびソフトウェアを活用して主に地域社会の経済、災害等に関する先行研究についてレビューを行い、GISによるそれらに関する具体的な解決方法を学ぶ。

応用システム論演習

この演習科目は、1)簡単な装置を用いたダイクストラ法の演示実験、2) Web APIを用いた熊本市電の簡易的な乗り換え案内プログラムの作成、3) Webアプリケーション・フレームワークDjango (Pythonで実装)を用いたシンプルなWebアプリケーションの作成、4)ビッグデータ処理技術の端緒として、Python用グラフ・コンピューティング・ライブラリ"Dask"を用いたデータ分析アプリケーションの作成、を通じて、現代社会を支える複雑なコンピュータ・システムの一部を自ら実装できることを到達目標とする。

商学・経済学研究科 商学・経済学専攻 博士後期課程

科目区分	科目番号	授業科目	単位
流通	1	流通・マーケティング論研究指導	4
	2	流通・マーケティング論研究指導演習	12
	3	交通論研究指導	4
	4	交通論研究指導演習	12
	5	マーケティング・リサーチ論研究指導	4
	6	マーケティング・リサーチ論研究指導演習	12
商学分野	7	保険論研究指導	4
	8	保険論研究指導演習	12
	9	財務管理論研究指導	4
	10	財務管理論研究指導演習	12
	11	会計学原理研究指導	4
	12	会計学原理研究指導演習	12
	13	財務会計論研究指導	4
	14	財務会計論研究指導演習	12
	15	会社税法研究指導	4
	16	会社税法研究指導演習	12
	17	会計制度論研究指導	4
	18	会計制度論研究指導演習	12
	19	管理会計論研究指導	4
	20	管理会計論研究指導演習	12

科目区分	科目番号	授業科目	単位
商学分野	経営情報系	21 経営史研究指導	4
		22 経営史研究指導演習	12
		23 経営管理論研究指導	4
		24 経営管理論研究指導演習	12
		25 労務管理論研究指導	4
		26 労務管理論研究指導演習	12
経済学分野	理論情報系	27 ゲーム理論研究指導	4
		28 動学マクロ経済学研究指導	4
		29 動学マクロ経済学研究指導演習	12
		30 情報処理論研究指導	4
		31 情報処理論研究指導演習	12
		経済政策・経済史系	32 経済政策論研究指導
	33 経済政策論研究指導演習		12
	34 農業政策論研究指導		4
	35 労働経済論研究指導		4
	36 環境経済論研究指導		4
	37 地方財政論研究指導		4
	地域経済国際経済系		38 地域経済分析研究指導
		39 地域経済分析研究指導演習	12
		40 地域公共政策論研究指導	4
		41 地域公共政策論研究指導演習	12
		42 国際経済論研究指導	4
		43 国際経済論研究指導演習	12
	44 開発経済論研究指導	4	
	45 開発経済論研究指導演習	12	

演習内容紹介

流通・マーケティング論研究指導演習

本演習では流通・マーケティングに関して自ら研究を進めることができるよう、理論的分析と自論展開が出来るようになることを目標に指導する。

交通論研究指導演習

この演習科目は、物流における行政や荷主企業、物流事業者の視点に立ち、労働力不足や環境配慮の高まり、産業誘致による効果といった環境変化に関する様々な問題や課題に対して、主要文献や関連する官公庁、企業へのヒアリング、アンケート調査を行うことで、現状の把握、課題を抽出し、その解決策を検討、評価する。

マーケティング・リサーチ論研究指導演習

授業計画として、まず企業を取り巻くマーケティング課題について実際のケースを取り上げて検証を行う。さらに、そのようなマーケティング課題をリサーチによってどのように解決していくかを検証していく。

保険論研究指導演習

この演習科目では、保険制度を歴史的・論理的に解明し、保険を多面的に理解できるようになり、博士論文作成にも反映することができるようになることを到達目標とする。

財務管理論研究指導演習

この演習科目では、財務論だけでなく、会計や会社法等の関連分野の幅広い高度な専門知識を修得するとともに、テーマについて先行研究の検討、新たな視点の発見、その視点による理論的考察や実証分析によって、オリジナリティある博士論文を作成することを目的とする。

会計学原理研究指導演習

この演習科目では、学位(博士)の取得に向けて、各自の問題意識に合わせて、テーマの選定から、資料の収集および分析、さらには博士論文の完成まで、適宜指導します。また、指導期間中に開催される学会や研究会、あるいは私の個人的つながりを通じて、適切なアドバイスを九州内外の研究者に求め、論文のレベルアップを図ることを目的としています。

財務会計論研究指導演習

財務会計領域における数理モデル分析では、企業の情報開示行動、ディスクロージャーと株式市場の関係、および経営者に対するインセンティブ契約などが数多く取り上げられてきた。演習では、これらの分野の中から受講者自らが選定したテーマに関して、論文執筆を進めるうえでの方向性や課題をともに考え、付加価値のある論文の完成を目指す。

会社税法研究指導演習

法人税法では、課税標準は所得の金額と定めている。そこで、本研究指導は、主としてわが国法人税法における所得計算構造の究明を目的とした研究を行う。

会計制度論研究指導演習

現実の会計制度を研究するうえで必要な経済学・財政学を含む関連分野の文献資料を渉猟し、一貫した論理に基づく検討を行ったうえで、独自の視点からの会計制度に対する提言を含む博士論文を完成する。

管理会計論研究指導演習

本演習は、「経営戦略の実行支援ツールとしての管理会計」を鍵概念とし、管理会計の諸論点について、学術的のみならず実務的な貢献度の高い博士学位論文を執筆することを目的とする。

経営史研究指導演習

この演習科目では、少人数の対話を通じ、自立した研究者となるための支援を行う。目標は、経営史学の方法を踏まえ、自立した研究者となるべく、課題を探し研究していく力を身につけることである。

経営管理論研究指導演習

授業の到達目標として、経営学分野の基礎理論を正確に理解し、科学的な研究方法(先行文献サーベイ、ケース・スタディ、アンケート調査、統計分析など)を実践できる能力を身に付ける。そのうえ、論理性、科学性、独創性を持ち合わせる研究論文の完成ないし博士学位の取得を目指す。

労務管理論研究指導演習

この演習科目では、バブル崩壊後の不況、IT革命、グローバル化、少子高齢化の進展といった環境変化によって、近年大々的な変化をみせている日本の労務管理の実像を文献サーベイや資料収集を通して追及することを目的とする。

動学マクロ経済学研究指導演習

この演習では経済成長のメカニズムを研究する。現実の経済問題に対する中長期的予測や政策提言を、動学的競争均衡モデルとシミュレーション分析を用いて行えるようになることを到達目標とする。

情報処理論研究指導演習

この演習科目は、研究を行うための資料収集状況の発表や、論文の構想の発表をしてもらうものである。そして、それらに基づいて、教員の側から指導を行うので、それにこたえる形で論文の準備や論文の作成をしてもらう。これにより、質の高い博士論文を作成できるようになることを、目的とする。

経済政策論研究指導演習

この演習科目では、経済政策論の分野の既存研究の理解と発展的研究、論文執筆の方法を学ぶ。政策分野では政策が現実の経済に与える影響について論ずるため、理論研究のみならず実証研究も同時に行うことが望ましい。経済政策論の分野で博士論文を執筆することを到達目標とする。

地域経済分析研究指導演習

本演習では、主に地域経済学や都市経済学の分野を対象として、各自の研究テーマ及び問題意識に基づき、理論的・実証的アプローチで博士論文を作成することを目的とする。主な研究テーマは、(a)都市・地域経済及び人口構造に関する計量経済モデルを用いた研究、(b)不動産市場の政策分析に関する計量経済モデルを用いた研究、(c)地域間産業連関モデルによる経済波及効果の分析などの地域経済に関する研究テーマを想定している。

地域公共政策論研究指導演習

対面で、博士論文の課題に対する研究成果の発表とその後のディスカッションによる演習を行います。最終的には、演習の成果を学位論文としてまとめます。

国際経済論研究指導演習

この演習科目は、必要な国際経済論の基礎を再確認した後、研究テーマにも基づく文献・資料の収集、報告を行う。博士学位の修得に相応しい高度な専門知識と自ら研究課題を立て研究分析していく力を身につけることを到達目標とする。

開発経済論研究指導演習

この演習科目は、発展途上国が抱える様々な開発問題を検討して、その解決策を考察することを目的とする。3年次では、1年次や2年次で学んだ知識を基に、発展途上国が抱える開発問題やその解決策に関する学位論文を完成する。